

# 令和八年歌会始御製御歌及び詠進歌

明

御製

天空にかがやく明星眺めつつ新たなる年の平安祈る

皇后陛下御歌

メダル掛け笑顔明るき選手らに手話で伝へる祝ひのことば

皇嗣殿下

夜明け前一番鶏の鳴く声にアンルーナイの一日始まる

皇嗣妃殿下

雨降れば部屋で工作紙芝居「あそびのひろば」は明るい広場

愛子内親王殿下

日本語を学ぶラオスの子どもらの明るき声は教室に満つ

佳子内親王殿下

ブラジルと日本で会った子どもらの明るい未来幸せ願ふ

悠仁親王殿下

薄明かり黄昏とんぼは橋のうへ青くつきりと俊敏に飛ぶ

正仁親王妃華子殿下

夕暮れて富士登山する人多く列なす明りうごきゆく見ゆ

寛仁親王妃信子殿下

江戸川に打ち上げられし満開の花火明るし笑顔眩しき

彬子女王殿下

祖父宮おほぢみやの語りたまひし異国とつくにの砂の文明間近に迫る

憲仁親王妃久子殿下

佐渡島ほのぼの白く明けゆきて餌場に朱鷺の舞ひ降りきたり

承子女王殿下

参道を明るく照らす望の月見返ればはるか茜さす富士

御 製

天空にかがやく明星眺めつつ新たなる年の平安祈る

天皇陛下には、元日の夜明け前から、皇居の賢所で行われる四方拝、歳旦祭などの神事に臨まれます。この御製は、その歳旦祭の折に、賢所の回廊から澄んだ冬の空にひとときわ輝く明けの明星（金星）をご覧になり、その美しさに感じ入られるとともに、新たな年の平安を祈られた時のお気持ちをお詠みになったものです。

## 皇后陛下御歌

メダル掛け笑顔明るき選手らに手話で伝へる祝ひのことば

天皇皇后両陛下並びに愛子内親王殿下には、昨年十一月に日本で初開催となった、第二十五回夏季デフリンピック競技大会の水泳競技をご観戦になりました。初めてとなる競技観戦に先立ち、お三方には、聴覚に障害のある選手や関係者の方々と少しでも直接お話しができればと思われ、日本語の手話と国際手話の挨拶などを学びました。また、当日のご観戦の折に、ご説明者の方から、「おめでとう」という手話を教えていただかれました。皇后陛下には、デフアスリートの皆さんが力を尽くして競技に臨む姿や、競技後にお会いになったメダリストの皆さんの明るい笑顔が深く印象に残られました。その折に、学ばれた手話で「おめでとう」などのメッセージを選手の皆さんにお伝えになり、直接会話がおできになったことを心からうれしく思いになりました。

皇后陛下には、このご経験を通して、障害のある方々に対する社会の理解と協力が更に広がり、障害の有無にかかわらず、お互いを尊重し、協力し合う共生社会が形作られていくことへのより一層の願いを込められて、この御歌をお詠みになりました。

## 皇嗣殿下

夜明け前一番鶏の鳴く声にアンルーナイの一日始まる

秋篠宮皇嗣殿下は、タイのアンルーナイ野生動物保護区を赤色野鶏の調査のために訪れ、そこで一夜を過ごされたことがありました。夜明けの三十分程前に野鶏の鳴く声が聞こえ、正確な時間に鳴くものと改めて感じられたことを歌にお詠みになりました。

## 皇嗣妃殿下

雨降れば部屋で工作紙芝居「あそびのひろば」は明るい広場

秋篠宮皇嗣妃殿下は、有志のお仲間たちとご一緒に、東日本大震災で被災した福島の子どもたちの心のケアをサポートする活動に携わってられました。昨年の秋も福島県相馬市で活動がおこなわれました。当日は雨が降っていたために、集まった子どもたちやご家族は、屋内でおもちゃ、工作、絵本や紙芝居などを楽しみました。参加者が遊びを通じて語らい、ひとときをすごす「あそびのひろば」が、明るい広場となったことを歌にお詠みになりました。

## 愛子内親王殿下

日本語を学ぶラオスの子どもらの明るき声は教室に満つ

愛子内親王殿下には、昨年十一月に初めての外国公式訪問として、日本との外交関係樹立七十周年を迎えたラオスをご訪問になりました。ラオス政府の方々や多くの国民の皆さんに温かく迎えていただかれ、首都ビエンチャンと古都ルアンパバーンにおいて、寺院や博物館、学校、病院、不発弾処理のビジターセンター、名瀑など様々な場所をご視察になりました。

そのうちの一つ、日本語パートナーズ受け入れ校であるビエンチャン中高一貫校では、現地の中学生と高校生が日本語や日本文化を学ぶ授業を参観されました。その際、生徒たちが明るく元気な声で日本語を発音したり、日本の伝統的な遊びである福笑いに親しんだりするなど、活気に満ちた教室で日本語を楽しく学んでいる様子をご覧になり、ほほえましく、また、うれしく思われたお気持ちをお詠みになりました。

#### 佳子内親王殿下

ブラジルと日本で会った子どもらの明るい未来幸せ願ふ

佳子内親王殿下は、昨年六月に、日本とブラジル連邦共和国との外交関係樹立百三十周年および「日本ブラジル友好交流年」にあたりブラジルを訪問された際に、ブラジルの各地で多くの子どもたちとお会いになりました。また十二月には「神戸市立海外移住と文化の交流センター」を訪問され、同センターに拠点を置く「関西ブラジル人コミュニティC B K」のブラジルなどにルーツがある子どもたちとお会いになりました。子どもたちの明るい未来と幸せを願って、この歌をお詠みになりました。

#### 悠仁親王殿下

薄明かり黄昏とんぼは橋のうへ青くつきりと俊敏に飛ぶ

悠仁親王殿下は、ある夏の黄昏時に、赤坂御用地内の橋の上を俊敏に飛ぶトンボに目を凝らすと、薄明かりの中で青色の模様がはつきりと見え、それがマルタンヤンマだと分かりました。御用地内で夕暮れに高いところを飛ぶことの多いこのトンボを間近に見ることができたのが嬉しかった  
思い出を歌にお詠みになりました。

## 正仁親王妃華子殿下

夕暮れて富士登山する人多く列なす明りうごきゆく見ゆ

宮邸でテレビをご覧になっておられた時、夕暮れ時の富士山の映像をご覧になりました。その時のことをお詠みになったお歌です。

## 寛仁親王妃信子殿下

江戸川に打ち上げられし満開の花火明るし笑顔眩しき

江戸川の河川敷で開催された、第五十回江戸川区花火大会にお招きを頂きました折、打ち上がる満開の花火と感動する人々の表情をお詠みになったお歌です。

## 彬子女王殿下

祖父宮おほちみやの語りたまひし異国とくにの砂の文明間近に迫る

彬子女王殿下には、崇仁親王殿下がご研究になっており、崇仁親王妃百合子殿下とご一緒にご訪問されたエジプトを五十年の歳月を経てご訪問になりました。崇仁親王殿下からお話をお伺いしたり、ご著書の中で語っておられたりした古代エジプト文明は、関わりがない遠い世界のことだと思いましたが、間近でご覧になり、現実のものとして胸に迫ってきたことをお詠みになったお歌です。



憲仁親王妃久子殿下

佐渡島ほのぼの白く明けゆきて餌場に朱鷺の舞ひ降りきたり

憲仁親王妃久子殿下には、佐渡島にて、朱鷺とぎが明け方に餌場である田んぼへ舞い降りる様子についてお歌に詠まれました。

承子女王殿下

参道を明るく照らす望の月見返ればはるか茜さす富士

承子女王殿下には、北越谷駅からご覧になった夕焼けに染まる富士山と、その反対に浮かんでいた巨大なスーパームーンが、とても綺麗だった様子についてお歌に詠まれました。

召人

ピーター・J・  
マクミラン

御<sup>み</sup>杣<sup>そ</sup>山<sup>やま</sup>明<sup>あ</sup>るむ天<sup>あめ</sup>に杣<sup>も</sup>人の声<sup>こゑ</sup>ひびきたり「二本<sup>いっほん</sup>寝<sup>ね</sup>るぞ」

召人控 上野 誠

あな尊<sup>たふと</sup>茜<sup>あかね</sup>に雲<sup>くも</sup>は染<sup>そ</sup>まりをり明日<sup>あした</sup>船<sup>ふね</sup>出<sup>で</sup>を言<sup>こと</sup>祝<sup>いわ</sup>ぐがごと

選者 三枝昂之

うるほひを含む大空<sup>おおぞら</sup>の明<sup>あ</sup>るさがもう移<sup>うつ</sup>ろひの季節<sup>きせつ</sup>と告<sup>つ</sup>げる

選者 永田和宏

また俺<sup>おれ</sup>を置いていくのか明晰<sup>めいし</sup>夢<sup>ゆめ</sup>と知りつつ言<sup>い</sup>へばふつと笑<sup>わら</sup>ひぬ

選者 今野寿美

東京<sup>とうきょう</sup>に日<sup>ひ</sup>出<sup>で</sup>国<sup>こく</sup>新<sup>しん</sup>聞<sup>ぶん</sup>とふありて号<sup>ごう</sup>外<sup>がい</sup>も出<sup>で</sup>す明<sup>めい</sup>治<sup>し</sup>なりける

選者 栗木京子

明<sup>あ</sup>け方<sup>かた</sup>のすべの音<sup>おと</sup>を引き連<sup>つ</sup>れて今<sup>いま</sup>し列<sup>れつ</sup>車<sup>しや</sup>は鉄<sup>てつ</sup>橋<sup>きやう</sup>わたる

選者 大辻隆弘

さざんくわの幹<sup>みき</sup>しらじらと立<sup>た</sup>ちてをりきぞの夜<sup>よ</sup>ありし月<sup>つき</sup>の明<sup>あ</sup>かりに

選 歌 (詠進者生年月日順)

石川県 室木正武

大地<sup>なみ</sup>震<sup>あ</sup>にたふれし明日<sup>あした</sup>檜<sup>ひのき</sup>の年輪<sup>ねんりん</sup>を百<sup>ひゃく</sup>までかぞふ製<sup>せい</sup>材<sup>ざい</sup>前に

京都府 中川文和

訪ふたびに明日は行くと言ひし子の席空きしまま授業終へたり

東京都 八木訓子

夜明け前この世の息を吸ひ初めしみどり児腕かひなに子は父となる

茨城県 菅野公子

スクリーンに明朝体の文字並びチョークの音のしない教室

青森県 坂本美弦

停電の長びく夜に寡黙なる父が星座に明るきを知る

埼玉県 穂山順子

演劇部照明係の娘が照らす舞台のベンチをカメラに収む

新潟県 鈴木好行

静かなり一夜で変はる北の町障子戸越しの雪明りかな

石川県 和田実希

せがまれし地雷処理車の説明になくなるよと前置きをせり

神奈川県 新堀笙子

真つ青な栞紐あり文明は川より生まれ出づるをおもふ

新潟県 本間優大

明礬みやうばんの再結晶の実験は君への恋を形にしてる

佳 作 (詠進者生年月日順)

山梨県 渡邊良臣

雪山の朝の北岳間の岳農鳥岳の放つ明るさ

福島県 逸見征勝

退院にあらず転医の道すがら「空がきれい」と妻は明るし

大阪府 久保茂樹

茜から藍へ移れるつかのまの波照間島に明けのしづけさ

宮城県 渡邊和廣

降るやうな星空の下ひたすらに夜明けを待ちし三・一一

兵庫県 木内美由紀

明太子パスタをゆつくり巻きながら職退く思ひなほ揺らぎつつ

東京都 佐川智子

大屋根に上りて見遣る万博は国々の名の灯りて明かし

京都府 中松 裕

赤ちゃんが泣くと周りの乗客はやさしい透明人間になる

大阪府 花塚貴子

祈りとは夜明けをひとり待つことにどこか似てゐてあなたを思ふ

新潟県 石井 涼

七台のクレーン車並ぶ渋谷駅今日と明日の間違ひ探し

新潟県 稲田 雅

天井の照明の位置目印に背泳ぎ選手は速さを競ふ

新潟県 吉野くるみ

点灯夫街に明かりをともしてた明治時代の仕事を学ぶ

千葉県 有賀優希

数学の先生と目が合ったとき明暗わかるテストの点数

愛媛県 吉成麻那

「せんぱい！」と明るく手を振る後輩にはにかんではしまふ春の放課後

愛媛県 梶野 晴

八〇年前ずつと小さい女の子この子に明日は来なかつたんだ